

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区　名	福島
学校名	大阪市立海老江西小学校
学校長名	栗山　功

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・海老江西小学校では、第6学年 20名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科では2.2ポイント、算数科では4.0ポイントそれぞれ全国平均を上回った。理科では、大阪市平均を1.0ポイント上回ったものの、全国平均を1.1ポイント下回る結果となった。

国語科においては、おおかたの内容項目で昨年度よりも向上しているが、「情報の扱いに関する事項」では全国の値を18.1ポイント下回った。問題形式では記述式の正答率が高く、全国平均を18.7ポイント上回った。

算数科においては、全ての領域で昨年度よりも向上しているが、「データの活用」では全国の値を4.6ポイント下回った。

理科においては、4つの領域の中で「地球」を柱とする領域のみ、全国の値を5.9ポイント下回った。

児童質問紙においては、「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に対して、100%の児童が肯定的に回答している。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語]

目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。また、漢字を文の中で正しく使うことができる。今後は、情報と情報を関係付けたり、図などを用いて書き表し方を工夫したりする力をつけていかなければならない。

[算数]

図形の意味や性質、角の大きさの関係等を理解している。また、器具を使って目盛りを読み取ることができる。今後は、グラフや表から関係を読み取ったり、伴って変わる二つの数量関係に着目したりする力をつけていかなければならない。

[理科]

コイルの巻き数と磁力の関係や、植物の花のつくり、受粉についてはしっかりと理解している。今後は、自然条件の違いを考慮した実験を考えたり、実験結果からわかるなどを表現したりする力をつけていかなければならない。

全ての教科において無回答率が低く、最後まであきらめずに取り組む姿勢がみられる。また、すべての教科において第4区分の割合が全国平均よりも少なく、これまでの学校の取り組みや児童の頑張りが表れた結果となった。

質問調査より

「自分には良いところがあると思いますか」「学校に行くのは楽しいと思いますか」という質問では、100%の児童が肯定的に答えており、最も肯定的な回答はそれぞれの質問で全国平均よりも26.4ポイント、34.3ポイント上回った。

「授業の内容はよく分かりますか」という質問では、100%の児童が肯定的に答えており、最も肯定的な回答は全国平均よりも、国語では43.0ポイント、算数では32.0ポイント、理科では26.5ポイント上回った。

「ICT機器を使って発表のプレゼンテーションを作れますか」という質問では、94.7%の児童が肯定的に答えており、全国平均を18.0ポイント上回った。これまでの学年で、PCを使ってさまざまな取り組みを行ってきた成果が表れる結果となった。

今後の取組(アクションプラン)

「総合的読解力育成カリキュラム」に全校で取り組み、子どもたちの思考力・表現力を育み、主体的で対話的な深い学びができる授業実践を行っていく。また、算数科では、3年生以上で複数の教員で授業を行い、つまずきが見られる児童一人ひとりに対応していく。理科では、3年生以上で専科指導を行い、見通しをもって観察や実験を行っていく。

今後も学校行事を充実させ、保護者、地域、SC、SSW、区役所等と連携しながら子どもたちを見守り、安心して「学校へ行くのが楽しい」と思える児童を増やしていく。

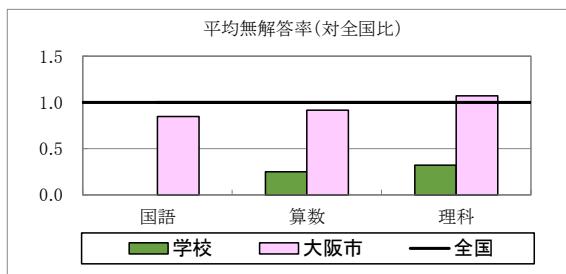
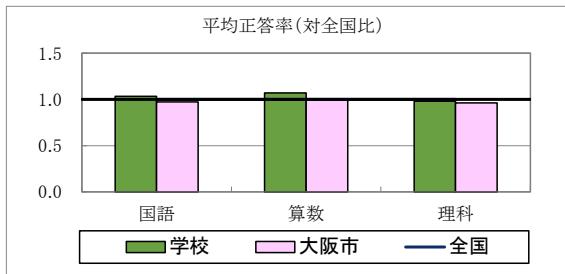
【 全体の概要 】

平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	69	62	56
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	0.0	0.9	0.9
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



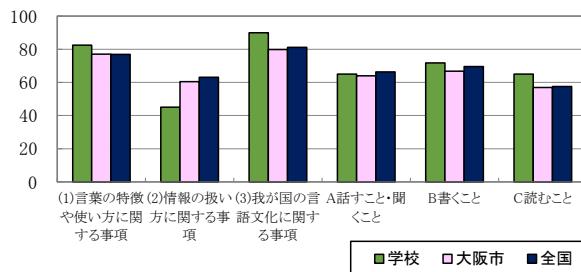
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	2	82.5	77.1	76.9
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	45.0	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	90.0	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	65.0	64.0	66.3
B 書くこと	3	71.7	66.7	69.5
C 読むこと	4	65.0	56.9	57.5

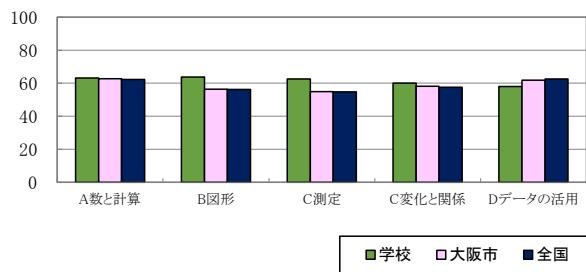
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	63.1	62.7	62.3
B 図形	4	63.8	56.4	56.2
C 測定	2	62.5	54.9	54.8
C 変化と関係	3	60.0	58.2	57.5
D データの活用	5	58.0	61.9	62.6

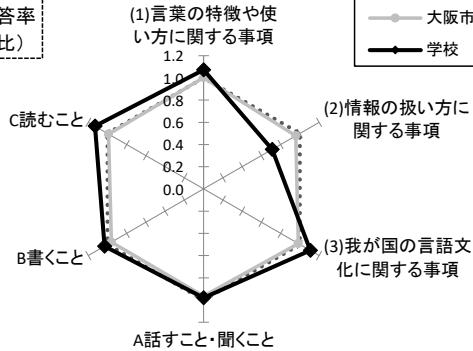
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



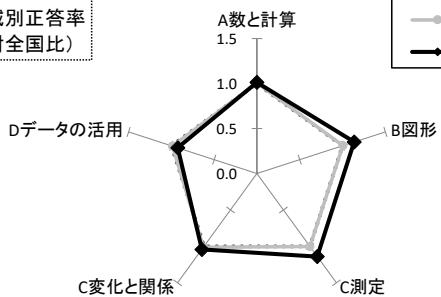
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

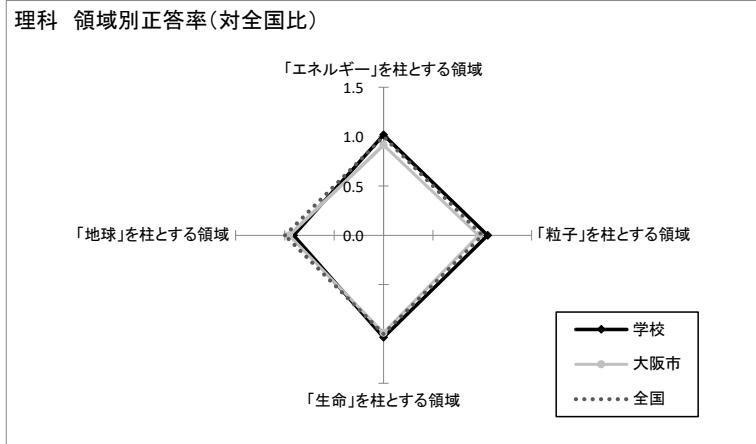
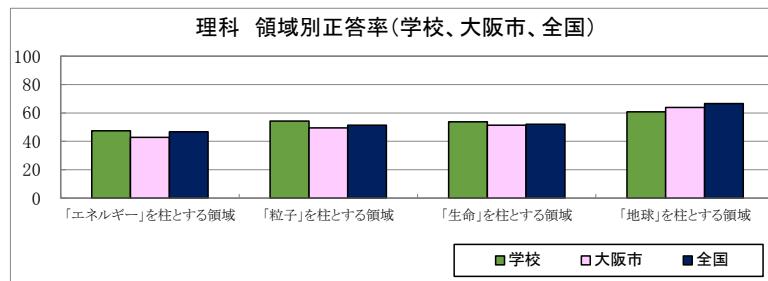


算数
領域別正答率
(対全国比)



【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	47.5	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	54.2	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	4	53.8	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	60.8	63.8	66.7



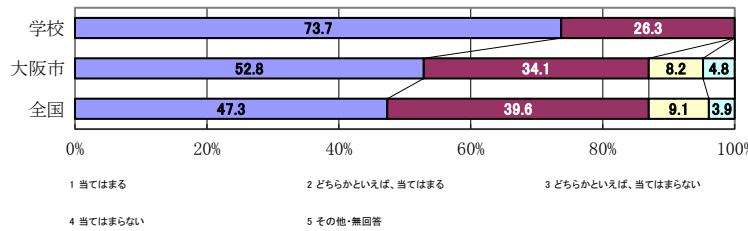
児童質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

5

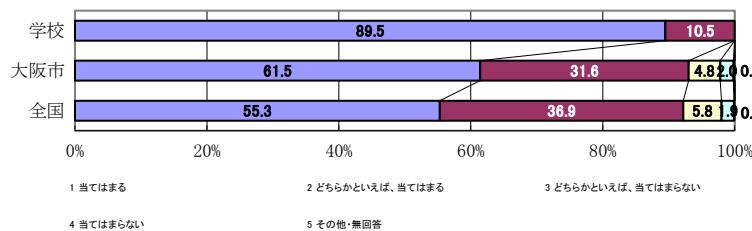
自分には、よいところがあると思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 その他・無回答

6

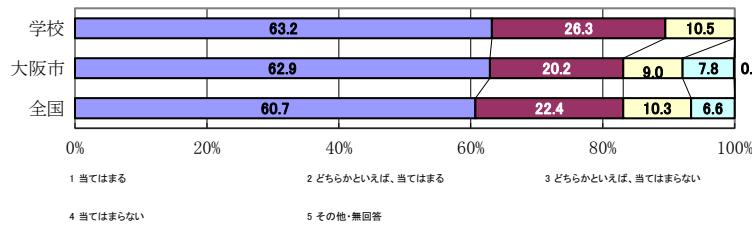
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 その他・無回答

7

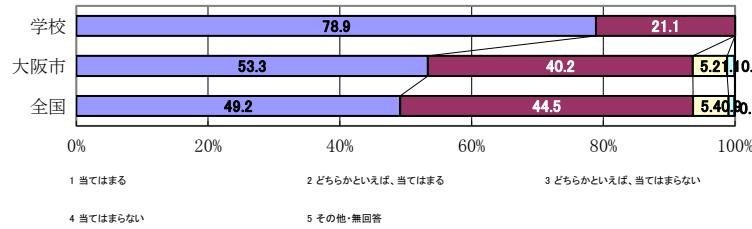
将来の夢や目標を持っていませんか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 その他・無回答

8

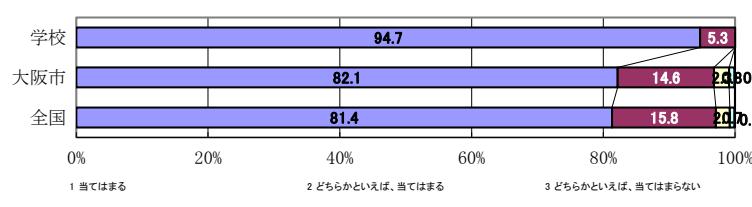
人が困っているときは、進んで助けていますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 その他・無回答

9

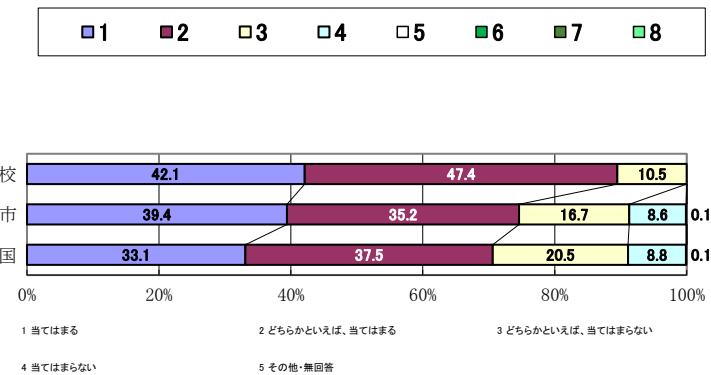
いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



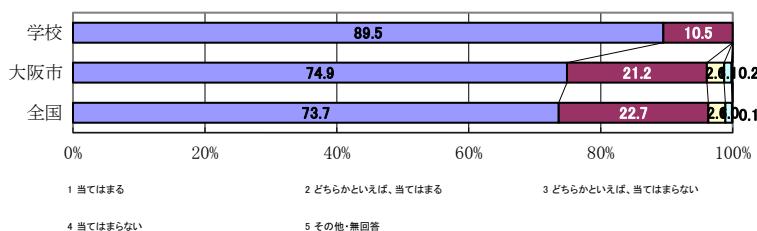
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 その他・無回答

児童質問より

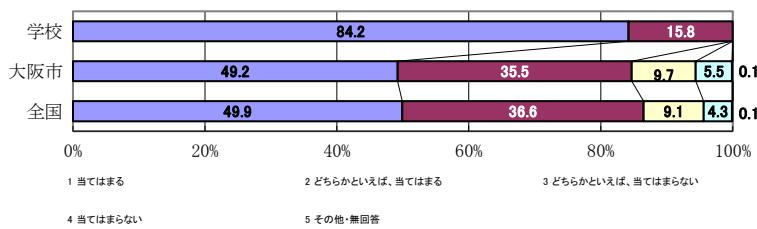
質問番号
質問事項
10
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



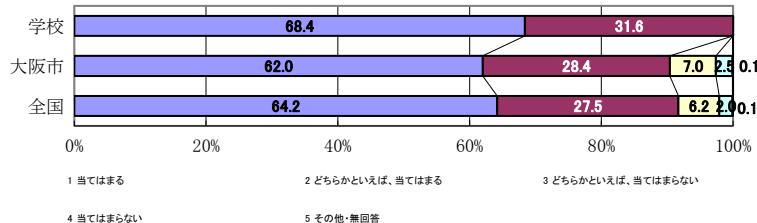
11
人の役に立つ人間になりたいと思いますか



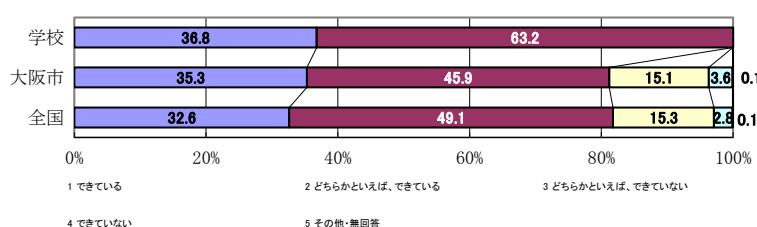
12
学校に行くのは楽しいと思いますか



14
友達関係に満足していますか

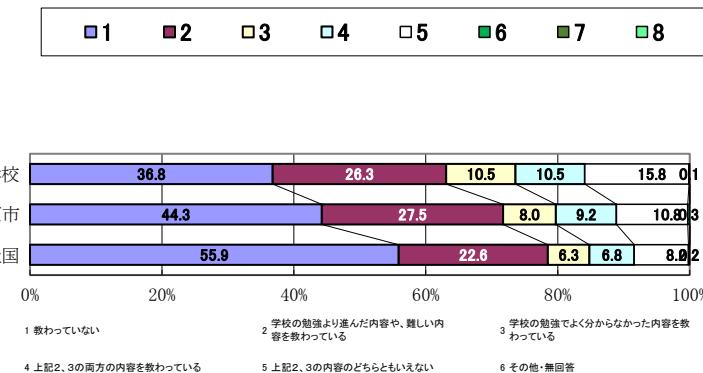


16
分からぬことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

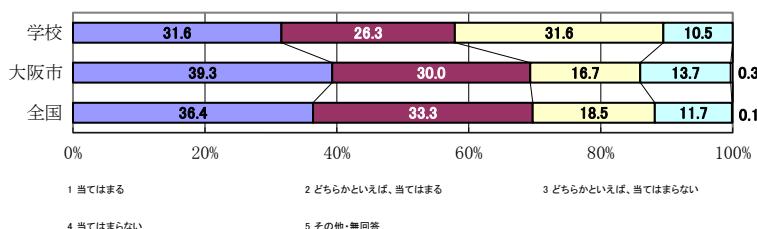


児童質問より

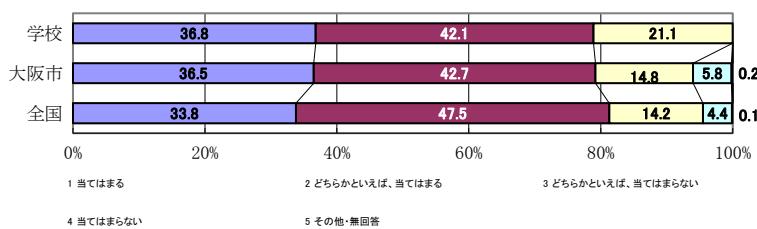
質問番号
質問事項
20
学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(オンライン授業の場合も含む)



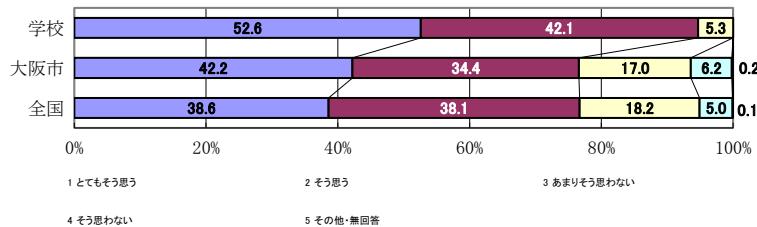
24
読書は好きですか



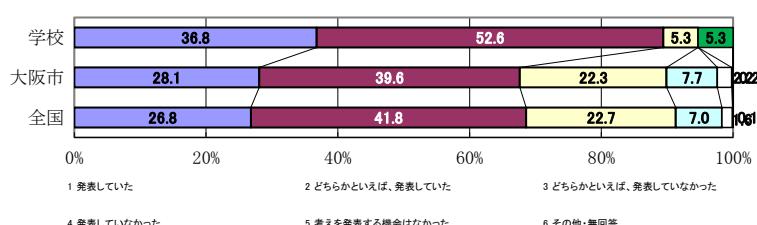
27
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



75
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思いますか

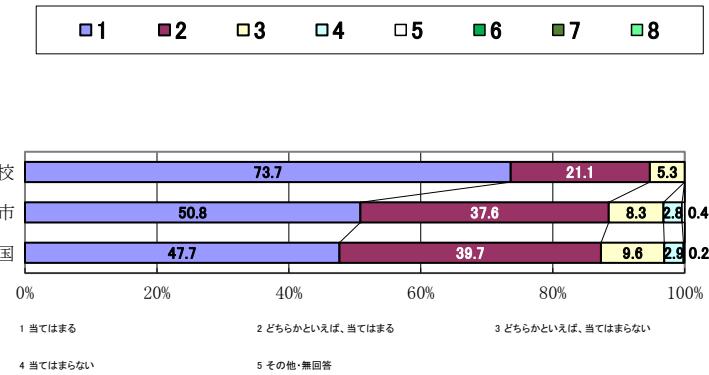


31
5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

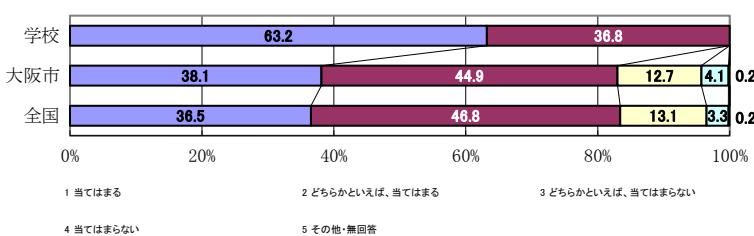


児童質問より

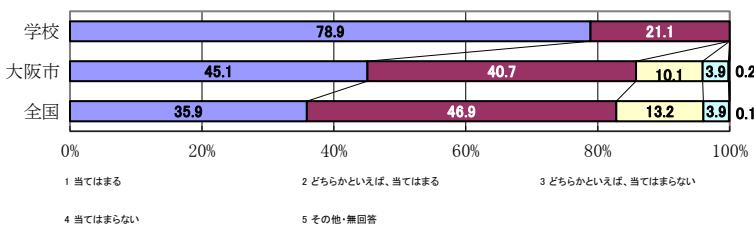
質問番号
質問事項
38
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



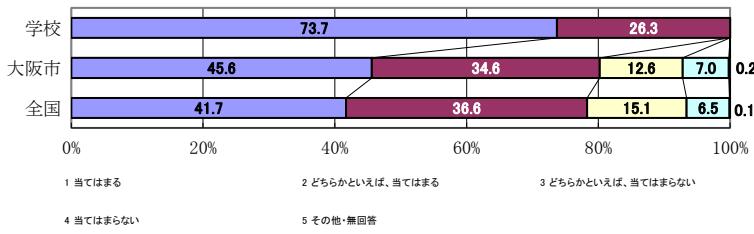
41
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



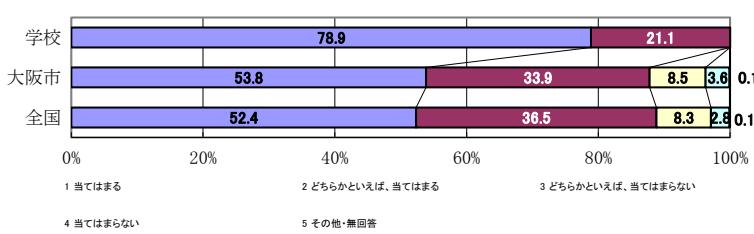
46
国語の授業の内容はよく分かれていますか



54
算数の授業の内容はよく分かれていますか



62
理科の授業の内容はよく分かれていますか



学校質問より

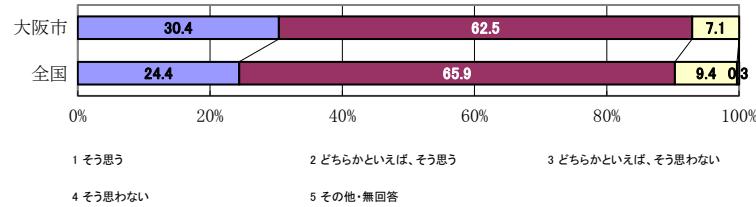
■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8 ■ 9 ■ 10

質問番号
質問事項

7

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

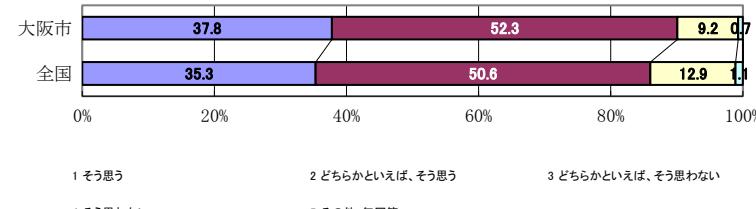
学校 「そう思う」を選択



8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

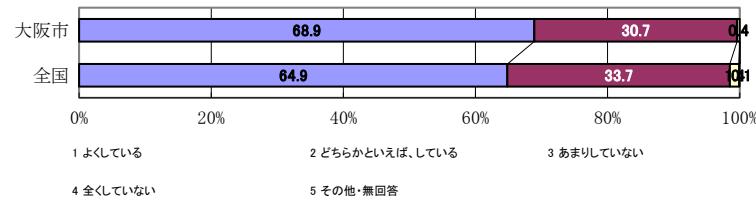
学校 「そう思う」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

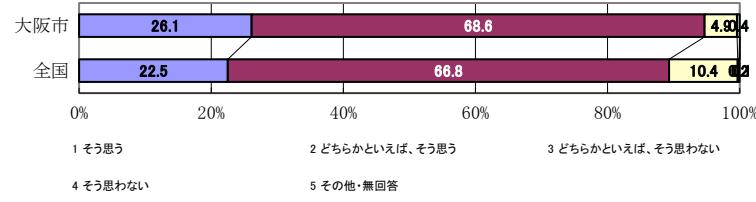
学校 「よくしている」を選択



25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

学校 「そう思う」を選択



56

教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会はありますか

学校 「ある」を選択

